



海外生活
レポート

23



【ブラジル連邦共和国】
BRAZIL

リオ・デ・ジャネイロの景色▶



日本から最も遠く、 日本とのつながりが深い国



レポーター
坂本 タマラさん
●ブラジル リオ・デ・ジャネイロ在住

はじめまして、タマラです。私はペルー出身ですが、10才の時に日本に移住しました。その後、17年間日本で暮らしていましたが、1年前から夫の赴任でブラジルのリオ・デ・ジャネイロ（以下、リオ）に住んでいます。日本人にとってブラジルといえば、サンバ、キリスト像、ボサノヴァ、サッカーなどがまず先に思い浮かぶでしょう。実は、多くの日本人が持っているそんなイメージは、サッカーを除いてすべてリオのものなのです。

リオは自然に恵まれた美しい都会

2つのテーマに絞ってブラジルを紹介させていただきます。まずはリオの素晴らしい大自然です。リオには山、海、そして意外と知られていませんが、湖があります。湖では、多くの種類の鳥が生息し、日本だと動物園でしか会えないカピバラの家族も住んでいて、運が良いと会うことができます。湖の周りでは、カワイイ小猿が電線を歩いたり、木の上で過ごしたりする姿を見つけることもできます。また、街を歩けば、日本では高

級な花とされている胡蝶蘭があちこちで育てられています。街の景色に溶け込んでいます。このように、都会ながら沢山の自然が詰まっているのがリオなのです。

ビーチや湖、公園にはトレーニング設備があり、日常的にスポーツに親しむ環境が整っています。健康や美に対する意識が非常に高いCarioca(リオの人々)は、美しい自然の中でランニングなどを楽しんでいます。

日本・ブラジルの絆

2つめは、日本とブラジルの長い友好関係です。今年には日本・ブラジル外交関係樹立120周年。1908年(明治41年)に日本人のブラジル移住が始まり、はじめは農場での仕事が一般的でした。彼らは勤勉に働き、次世代の子どもたちは徐々に社会的地位を勝ち取っていきました。今ではブラジルのトップレベルの公立大学であるサンパウロ大学の生徒の約14%、教授陣はその6%が日系人です。(ブラジル人口における日系人の比率は約0.8%に

もかかわらずです)。

また、日系人が多いおかげで、ブラジル産の日本米、醤油、豆腐、納豆など様々な日本の食材を購入することができます。寿司などの日本食レストランはブラジル料理に次いで多く、ブラジルでは寿司を食べることがごく一般的となっています。さらに、今年の2月にサンパウロで開催されたサンバカーニバルには、青森県五所川原市の立佞武多(たちねぶた)が出演したり、ジーコやコシノ・ジュンコなどの著名人や、多くの日系人、日本人が参加しており、日本とブラジルの友好の証となっています。

リオの湖やビーチでスポーツを楽しんだ後に、ココナッツウォーターを飲んで涼みながら、美しく飽きのこない自然を眺めて一服なんていかがでしょうか。来年は「リオデジャネイロ五輪」も開催されるので、ぜひ遊びに来て下さい。

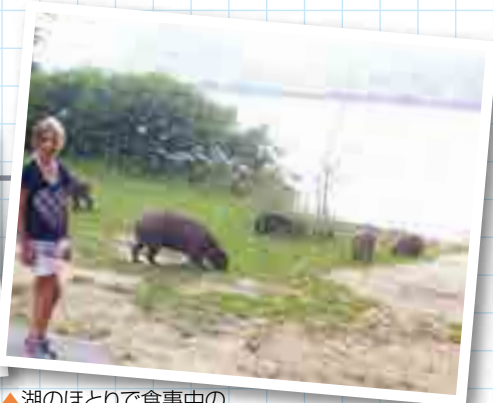
(文・写真提供:坂本 タマラさん)



ブラジル連邦共和国
面積:851.2万km²
人口:約2億40万人
首都:ブラジリア



▲街中に見る胡蝶蘭



▲湖のほとりで食事の中のカピバラの親子を発見